

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公開番号】特開 2019-24538 (P2019-24538A)  
 【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-007  
 【出願番号】特願 2017-143723 (P2017-143723)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】  
 【提出日】令和 2 年 6 月 19 日 (2020.6.19)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

所定の抽選処理の抽選結果に対応して、画像演出、ランプ演出、又は、音声演出の全部又は一部を実行する遊技機であって、

前記遊技機は、演出動作を制御するコンピュータ回路を保持する遊技盤と、複数の部材を備えた枠側部材と、を有して構成され、

前記枠側部材は、外枠を構成する第 1 部材と、前記第 1 部材に装着される第 2 部材と、前記第 2 部材に装着される第 3 部材と、前記第 3 部材に変更可能に装着される変更部材と、を有して構成され、

前記変更部材に対応する前記遊技盤が、前記第 2 部材に取り外し可能に装着され、

前記変更部材は、前記遊技盤に対応する判別コードを保有すると共に、演出動作に寄与する駆動装置を保有して構成され、

前記コンピュータ回路は、電源投入時、前記変更部材から前記判別コードを取得して、遊技盤と変更部材の整合性判定を行い、整合しない場合には異常報知を実行するよう構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 8】

上記の目的を達成するため、本発明は、所定の抽選処理の抽選結果に対応して、画像演出、ランプ演出、又は、音声演出の全部又は一部を実行する遊技機であって、前記遊技機は、演出動作を制御するコンピュータ回路を保持する遊技盤（４）と、複数の部材を備えた枠側部材と、を有して構成され、前記枠側部材は、外枠を構成する第 1 部材（１）と、前記第 1 部材に装着される第 2 部材（２）と、前記第 2 部材に装着される第 3 部材（３）と、前記第 3 部材に変更可能に装着される変更部材（５，６）と、を有して構成され、前記変更部材に対応する前記遊技盤が、前記第 2 部材に取り外し可能に装着され、前記変更

部材は、前記遊技盤に対応する判別コードを保有すると共に、演出動作に寄与する駆動装置を保有して構成され、前記コンピュータ回路は、電源投入時、前記変更部材から前記判別コードを取得して、遊技盤と変更部材の整合性判定を行い、整合しない場合には異常報知を実行するよう構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明では、前記コンピュータ回路は、電源投入時、前記変更部材から前記判別コードを取得して、遊技盤と変更部材の整合性判定を行い、整合しない場合には異常報知を実行するので、不適切な動作が未然回避される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

判別コードによる整合性判定は、電源投入時に限るのが好適であり、整合性判定に合格した後は、定時的に、意匠コードを取得して、演出動作に反映されるのが好ましい。